

■ 小樽港フィールド・ラーニングを開催しました ～自治体・民間の方々も参加～

北海道開発局 小樽開発建設部

平成 28 年度、小樽開発建設部で小樽港フィールド・ラーニング(O.F.L)を 2 回開催しました。これは、明治の時代、我が国で日本人による初の外洋防波堤建設を成し遂げた、廣井勇博士(初代小樽築港事務所長(現港湾事務所))の近代築港における計画、築造等の技術者としての考え方・精神等を学び次世代への継承を目的とするもので、平成 24 年に第 1 回を開催し今回が第 6 回と第 7 回となりました。

今回講師を務めていただいた方は、ご自身も工学博士であり一昨年出版された「シビルエンジニア 廣井勇の人と業績」の著者関口信一郎氏(北海学園大学院非常勤講師・日本データーサービス株式会社顧問)です。

本 O.F.L では、関口氏にお願いし第 6 回から今後計 4 回に亘り、講演テーマ「北海道開発の歴史～廣井勇博士の生涯」として、シリーズで開催することとしました。

第 6 回(平成 28 年 12 月 9 日開催)では、「世界・日本・北海道の動きと廣井勇博士。北海道の歴史と開拓」と

題してご講演いただきました。当日は、当部職員の他、小樽市や余市町の職員、民間業者などから約 70 名の方々にご参加いただきました。当部から参加した 1 ～ 2 年目の若手職員からも、廣井勇博士の功績や開拓期の技術的な課題などについて積極的に質問し、知識の習得に努めていました。

第 7 回(平成 29 年 2 月 21 日開催)では、「物資輸送と水運・世界を変えた道路と鉄道」と題してご講演いただきました。参加者は約 60 人で、小樽市職員、民間業者などからもご参加いただきました。廣井勇博士が工学を目指す中で学んだであろう当時の先進的な技術や史実に触れるとともに、質疑応答では、「学生時代に習った歴史で聞いたことがある船の名前もあった」等の発言もあり、新たな知識を得るとともに知識を振り返る機会にもなったと思われます。

また、参加された方々からは、「次回も是非参加したい」との感想もいただいております。来年度もシリーズ物として継続開催を予定しております。

【第 6 回開催状況】



会場の様子



物資輸送と水運等の講演の様子



北海道の開発の歴史等の講演の様子



質疑応答の様子